



ふれあい 放水路

1999
(平成11年)
第59号
2月



人が立っている所は柱の跡です (写真提供：島根県埋蔵文化財調査センター)

出雲風土記の世界へ

〜奈良時代の郡庁跡〜

斐伊川放水路事業に先立ち、埋蔵文化財調査が進められている出雲市古志町の古志本郷遺跡で、奈良時代の郡庁（郡の役所）跡が発見されました。

古代国家では、大宝律令（七〇一年）制のもと、地方は「国・郡・里（郷）」の行政単位に分けられ、中心には「国庁」、その下の郡には「郡家」といわれる役所が置かれ、政治が行われていました。『出雲風土記』によると、出雲国には九つの郡が置かれていたことが記されています。

今回発見されたのは「神門郡家」の中心施設となる郡庁の一部とみられ、風土記に記述された国庁（出雲国庁は現在の松江市大草町）からの方位・距離とも一致しており、文献によって裏付けられる例は極めて少なく、全国的にみても貴重な遺跡であるということです。

また、付近から硯や墨書土器などの文字に関わるものや、役人が位に応じて身につけていた腰帯の金具など、役所関連とみられる遺物も出土しており、古代出雲の行政制度を知る貴重な史料として注目されます。

平成10年度の放水路事業計画(追加)

昨年の12月に平成10年度の補正予算が成立し、放水路事業でも工事を3月末までに追加発注することになりました。

拡幅部では、堤防工事を延長し、下流部で樋門工事、高水護岸工事を実施します。開削部では、半分・菅沢地区などの掘削を進めるとともに、A谷・C谷の防災調整池に着手します。また、朝山地区の稗原川に架かる清水前橋の改築を行います。

今年度当初からの工事と同様にご協力をよろしくお願いいたします。

追加工事

H10年度当初からの工事

崎屋橋では
引き続き上部工を施工します。

境島～高松地区では
境島地区では引き続き堤防工事、軟弱地盤対策工を施工します。
高松地区では新たに堤防工事に着手します。

古志橋では
引き続き上部工と左岸側(古志側)の下部工を施工します。

開削部では
引き続きC谷の市道付替道路を施工します。
また、新たにA谷・C谷の防災調整池に着手するとともに、掘削・盛土工を行います。

向原～大島～神門地区では
大島地区では引き続き堤防工事、軟弱地盤対策工、妙見橋の下部工を施工します。
向原～大島地区では新たに樋門工事、高水護岸工事に着手します。

けんせつ豆知識

普段は水が流れず、洪水時に冠水する部分を**高水敷**、洪水時に堤防を守るための護岸を**高水護岸**といいます。

半分大橋では
引き続き上部工を施工します。

朝山地区では
引き続き国道184号の付替道路を施工します。
また、新たに清水前橋の改築に着手します。

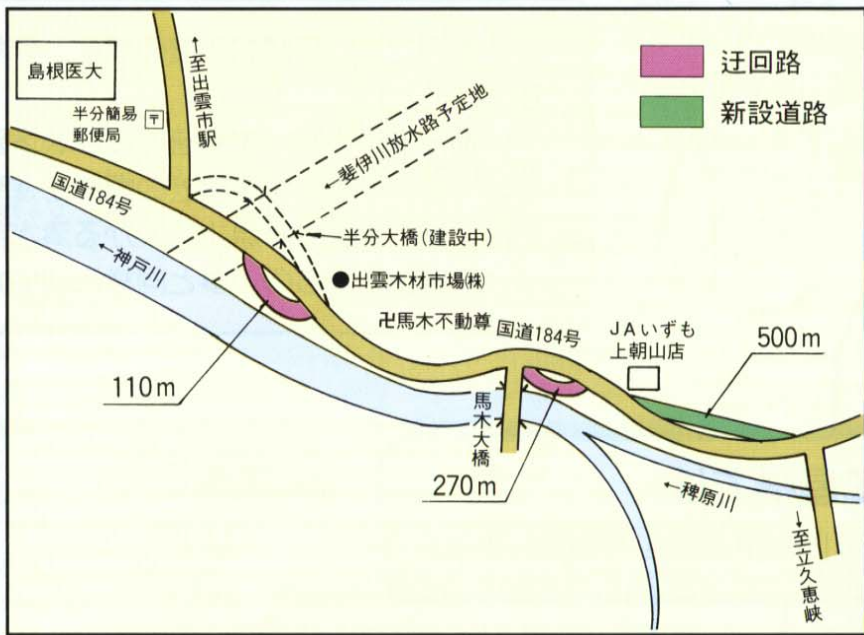


ふれあい放水路 通信

迂回路のお知らせ

半分大橋の取付道路の盛土と朝山地区での国道一八四号の道路改良のため、半分大橋予定地から立久恵峡方面への交差点にかけての計二箇所、迂回路・新設道路の通行となっています。ご迷惑をおかけしますが、通行にあたってはご注意ください。

位置図



斐伊川放水路を

テレビで紹介

斐伊川・神戸川の治水計画についての番組が放映されます。ぜひご覧ください。

『くにびきの川 現代のオロチ退治 斐伊川・神戸川の治水計画』

放送日時 3月12日(金)10時~10時30分

山陰中央テレビ(TSK)

※2月13日に放送された番組の再放送です。

『検証 脆弱列島日本』

放送日時 3月22日(祝) 現代のオロチ退治(仮)

山陰中央テレビ(TSK)

9時55分~10時50分(予定)

朝日ニュースター(CS衛星)

18時5分~19時(予定)

※ケーブルテレビでもご覧になれます。



※番組の内容についてのご意見・ご感想などあればお寄せください。

▲取材の1コマ(半分地区にて)

工事情報 コーナー

古志橋に着々と 桁が架かります

先月号(第五八号)で紹介した古志橋の桁を架ける工事が着々と進んでいます。



▲2月初めには桁の下の部分が架かり、現在はその上にクレーンやトラックを乗せてアーチ部分を架ける作業を行っています。



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先: ふれあい放水路担当
放水路工事室 建設専門官

3月22日は国連水の日です